

3人の有識者が登壇

技術士会中国 上下水道部会 例会・講演会を開催

日本技術士会中国本部
上下水道部会(今井田敏
宏部会長)は8月22日、
広島市内で2020年度
例会・講演会を開催した。
今回は、新型コロナウイルスの3密対策のため、
テレビ会議システムを活
用。広島会場を2会場に
分けて来場者を会場定員
の半分に抑えること

もに、岡山、鳥取、島根
の各会場でライブ上映を
実施。中国本部以外でも
東京統括本部、四国本部
の会場で上映を行い、合
わせて72人が参加した。
全国上下水道コンサルタ
ント協会中国・四国支部
との共催。
冒頭、今井田部会長が
「本部会は、平成27年度



今井田部会長

に活動を開始して以来、
今年で6年目となった。
今年度の活動は、新型コ
ロナウイルス感染症対策
のため、本日の例会・講

演会だけとなる。東京統
括本部では、9、11、1
月に講演会のウェブ中継
を行う予定であり、自己
研鑽の場としていただけ
れば」とあいさつした。
同部会では昨年度、例
会・講演会、および施設
見学会を開催。統括本部
講演会のウェブ中継は4
回実施。徳島市で開催さ
れた技術士全国大会にも
参画した。
今年度は、施設見学会
は新型コロナウイルス感
染症のため延期とした。
統括本部の講演会は、7

月に日本水道協会の北野
守康主任研究員が「水道
事業における官民連携」
で講演。9月には全国上
下水道コンサルタント協
会の西澤政彦氏が「下水
道施設計画・設計指針の
改定」で、11月には中里
卓治氏が(演題未定)講
演する予定。1月の講演
者・演題は未定。
講演会では、土木研究
所水環境研究グループ
(水質)の諏訪守総括主
任研究員が「国立研究開
発法人土木研究所水環境
研究グループ(水質)に
おける研究開発」下水処
理場での病原微生物の実
態と制御を主題として
「」と題し講演。遺伝子
情報を活用した下水から
の病原微生物の早期検出
を紹介し、ノロウイルス
に関して早期に流行を
検知でき感染拡大防止の
好循環が期待できるこ
と、新型コロナウイルス
についても現在国内外で
調査研究活動が進められ
ており、定量法の確立を
含めて進展が期待されて
いることを紹介した。
日本技術士会中国本部

岡山県支部の分部秀樹副
支部長は「中小水道事業
体の現状と課題」と題し
講演。分部氏は、今年3月
まで津山市水道局長を務
めた経験も踏まえ、職員
数が少なく料金回収率も
低いといった中小水道事
業体の実情を紹介。技術
士に期待されることとし
て、人口推計を踏まえた
水需要動向の算定、経営
戦略の策定や技術継承支
援、災害初期対応の充実
や早期復旧等を挙げた。
日本タクティル鉄管協
会の山崎弘太郎関西支部
長は「管路更新の促進に
よる水道の基盤強化」に
ついて講演。同協会が
「管路更新を促進する工
事イノベーション」研究
会」で検討を重ねてきた
「小規模簡易DB方式」
を紹介。入札不調や技術
者不足などさまざまな要
因で管路更新が進まない
中、概算数量設計方式の
概要、同方式の採用によ
り設計・積算日数を削減
できた事業体の事例、小
規模簡易DB方式の効果
と留意点などを説明し
た。